

保護者の皆様

神奈川県立横浜旭陵高等学校
校長 大野 俊世

令和6年度第1回「生徒による授業評価」集計結果について(ご報告)

金風の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。日ごろより、本校の教育活動にご理解・ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、神奈川県では例年、授業改善の取組みに資するものとして年に2回「生徒による授業評価」を実施しておりますが、今年度の本校における第1回(前期)の実施結果がまとまりましたので、次のとおりご報告申し上げます。

1 アンケート設問

大項目	番号	小項目
授業の在り方について	1	毎時間の授業や単元(内容のまとめ)のはじめに学習のねらいを示したり、毎時間の授業や単元の学習のあとに学習したことを振り返ったりする機会がある。
	2	単元(内容のまとめ)の学習の中で、他者の考えを知り、自らの考えを広げ深める機会がある。※他者とは、他の生徒・教員等を言う。
	3	単元(内容のまとめ)の学習の中で、課題について自分の考えをまとめたり、解決方法について考える場面がある。
学習の状況について	4	授業の中で「できるようになったこと」が増えたり「わからない所」に気づいたりしたことがありましたか。
	5	他者の考えを知ることにより、新たな考え方を知るなど、自らの考えを広げ深めることができた。※他者とは、他の生徒・教員等を言う。
	6	授業で得た知識をもとに、自分の考えをまとめたり、課題の解決方法を考えたりすることができた。
	7	授業で学んだことをそれまでに学んだことと関連付けて理解することができた。
認知変容について	8	4月に授業が始まってから、「自分の考え方を変えることで、自分の周りの人や出来事に対する考え方や感じ方が良い方向に変わった」という経験をしましたか。
	9	昨年度(1年次は中学生の時)よりも、自分の考え方を変えることで、授業に前向きに取り組めるようになりましたか。

アンケートの設問は、県の共通の設定項目である上記の7項目に加えて、本校独自の設定項目である「認知変容について」における2つの項目が設定されています。その各項目に対して、「4かなり当てはまる」「3ほぼ当てはまる」「2あまり当てはまらない」「1ほとんど当てはまらない」の4段階で評価し、回答します。

2 調査対象者数

実施したアンケートの教科毎の対象者数は次のとおりです。

教科	国語	地歴・公民	数学	理科	体育	芸術	外国語	家庭	情報	国際	総合
人数(人)	829	685	356	474	607	353	349	246	238	2	490

3 調査結果についての分析(数値は全体平均)

全ての項目で、肯定的な回答(評価4または3)をした割合が80%を超えています。特に設問4は90%となっており、『できるようになったこと』が増えたり、『わからない所』に気づいたりできる授業が行われているという高い評価を得ました。また、本校独自に設定した設問8は84%、設問9は88%という肯定的評価を得ていることから、特に学習面における認知変容が促進され、自己肯定感の涵養が実現されていることを確認することができました。

4 今後の授業改善に向けて

本校は、一人一台端末を効果的に活用し、個に応じた指導と生徒同士など多様な他者と協働しながら行う学びを充実させる取り組みを各教科で進めるとともに、生徒の自己肯定感を育むために、生徒がわかったと思える授業づくりに取り組んでいます。今回の授業評価の結果を受け、より一層生徒の主体性、協働性を意識した授業展開から学習内容の定着につながるように工夫を重ねてまいります。

問合せ先
副校長 斉藤
電話 045(953)1005

5 集計結果

教科	評価	設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問8	設問9
国語	4	34.9%	37.3%	37.9%	39.1%	34.9%	34.1%	36.9%	34.0%	36.7%
	3	49.0%	49.1%	48.0%	48.4%	49.3%	50.3%	48.7%	48.5%	48.0%
	2	13.0%	11.3%	11.8%	10.5%	12.7%	12.8%	11.0%	14.1%	11.7%
	1	3.1%	2.3%	2.3%	2.1%	3.1%	2.8%	3.4%	3.4%	3.6%
地歴・公民	4	40.0%	39.6%	40.4%	41.3%	38.7%	40.1%	40.7%	39.0%	42.5%
	3	52.8%	51.2%	50.8%	48.8%	50.9%	49.2%	47.7%	46.1%	47.3%
	2	6.1%	8.2%	7.7%	8.9%	9.2%	9.3%	10.4%	12.8%	8.9%
	1	1.0%	1.0%	1.0%	1.0%	1.2%	1.3%	1.2%	2.0%	1.3%
数学	4	33.4%	34.6%	36.0%	46.9%	34.6%	32.9%	33.7%	33.1%	39.6%
	3	51.7%	50.0%	52.8%	43.3%	49.2%	53.4%	52.2%	48.0%	49.2%
	2	12.4%	13.2%	8.4%	8.1%	13.5%	11.0%	12.1%	14.3%	8.4%
	1	2.5%	2.2%	2.8%	1.7%	2.8%	2.8%	2.0%	4.5%	2.8%
理科	4	45.4%	39.0%	44.3%	46.8%	35.9%	39.0%	42.2%	35.4%	41.6%
	3	46.4%	48.7%	45.1%	43.0%	48.9%	47.5%	47.0%	48.9%	46.0%
	2	7.4%	11.2%	9.1%	8.0%	13.7%	10.8%	9.7%	12.0%	10.5%
	1	0.8%	1.1%	1.5%	2.1%	1.5%	2.7%	1.1%	3.6%	1.9%
保健・体育	4	51.4%	39.7%	43.7%	50.4%	38.4%	42.7%	44.0%	41.4%	45.6%
	3	43.0%	49.4%	47.6%	41.4%	49.3%	48.6%	46.8%	47.1%	45.3%
	2	4.4%	8.7%	7.4%	6.1%	10.5%	7.7%	7.4%	9.2%	7.2%
	1	1.2%	2.1%	1.3%	2.1%	1.8%	1.0%	1.8%	2.3%	1.8%
芸術	4	49.6%	39.9%	43.9%	51.3%	39.1%	42.2%	41.4%	40.8%	46.5%
	3	42.5%	47.3%	47.6%	41.4%	47.0%	48.4%	48.2%	48.2%	45.6%
	2	6.8%	11.3%	7.9%	6.2%	12.7%	8.8%	9.9%	10.2%	6.8%
	1	1.1%	1.4%	0.6%	1.1%	1.1%	0.6%	0.6%	0.8%	1.1%
外国語	4	35.8%	37.0%	37.5%	44.1%	32.7%	35.5%	39.8%	31.8%	38.7%
	3	51.6%	51.9%	50.4%	46.4%	51.0%	50.4%	48.7%	48.7%	45.6%
	2	10.3%	8.3%	10.0%	7.7%	14.0%	11.7%	9.5%	15.5%	11.7%
	1	2.3%	2.9%	2.0%	1.7%	2.3%	2.3%	2.0%	4.0%	4.0%
家庭	4	41.5%	36.2%	40.7%	46.7%	38.2%	38.6%	41.9%	41.5%	41.5%
	3	48.4%	49.6%	47.6%	43.1%	45.9%	50.8%	47.2%	43.5%	45.1%
	2	8.1%	12.2%	10.6%	8.9%	14.6%	9.8%	9.3%	13.4%	10.2%
	1	2.0%	2.0%	1.2%	1.2%	1.2%	0.8%	1.6%	1.6%	3.3%
情報	4	31.5%	25.2%	27.7%	42.9%	23.9%	28.2%	29.8%	27.7%	31.9%
	3	50.4%	51.7%	53.8%	47.1%	48.7%	54.2%	52.9%	50.8%	50.0%
	2	14.7%	17.6%	17.2%	8.4%	23.5%	14.7%	14.3%	16.4%	14.3%
	1	3.4%	5.5%	1.3%	1.7%	3.8%	2.9%	2.9%	5.0%	3.8%
国際	4	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	100.0%
	3	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	0.0%
	2	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
キャリア	4	41.0%	38.6%	41.2%	37.6%	35.5%	38.0%	36.5%	34.7%	39.0%
	3	48.0%	48.4%	47.3%	49.4%	50.4%	50.6%	51.4%	50.8%	49.4%
	2	8.4%	12.0%	9.4%	12.0%	12.0%	9.4%	10.4%	12.7%	9.8%
	1	2.7%	1.0%	2.0%	1.0%	2.0%	2.0%	1.6%	1.8%	1.8%
全体平均	4	40.8%	37.5%	39.9%	44.0%	35.8%	37.6%	39.1%	36.3%	40.6%
	3	48.3%	49.6%	48.8%	45.6%	49.3%	50.0%	48.8%	48.0%	47.1%
	2	8.9%	10.9%	9.6%	8.7%	12.7%	10.5%	10.2%	12.8%	9.8%
	1	2.0%	1.9%	1.6%	1.6%	2.1%	1.9%	1.9%	2.8%	2.4%

6 教科での分析と改善に向けて

教科	授業評価の結果から読み取れる課題など	今後の授業改善に向けて
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・全ての設問で3・4の高評価が80%以上を占めている一方で、10%前後の生徒は現状の授業に満足していないことも分かった。 ・特に設問2・5・6は低評価の割合が高く、ここから以下のことが課題として挙げられる。 <ol style="list-style-type: none"> ①他者との情報や意見の共有が少なく、知識の発展や表現力の向上につながっていない。 ②授業時間内では教科書の内容を学習するに留まり、学んだ知識を発展させるには至っていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒にどのような力を身につけさせるのか、どのような方法で行うのかを、教員側が現状より一層明確に計画を立てる必要がある。また、新学習指導要領で述べられている通り、授業で身につけた力を実社会で活用することが求められている。そのため、生徒が主体的、能動的に授業に取り組み、学んだ知識を自身の糧とできるよう、活用できるものを最大限に活かした授業作りや、教員同士での定期的な授業見学を行い、教科として改善に向け努力をしていきたい。
地理・歴史・公民	<ul style="list-style-type: none"> ・概ね全ての設問で3以上の高評価の回答結果が得られている。 ・設問6の評価について、多くの授業で3を選んだ生徒が4を選んだ生徒より多い。 ・歴史総合の回答が、他科目に比べて少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・知識の定着だけを意識するのではなく、課題解決的な授業づくりを意識していく。 ・教科内で声を掛け合い、未回答の状態を作らないようにする。
数学	<ul style="list-style-type: none"> ・必修科目で母集団が大きい「数学I」では設問1・2・5・8の評価が、他の設問と比べると、低評価の1・2の割合が目立った。 ・特に設問2・5については、他者の考えを理解することができず、自分の考えを広げるまでに至らなかった生徒が少なからずいた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・他者の考えを理解する時間を授業内にて確保し、理解できたかを表現する方法(授業当日に授業内確認テストなど)が必要になると考える。
理科	<ul style="list-style-type: none"> ・すべての設問において、生徒からの評価は高かった。一方で、必修科目に比べ、選択科目や学校設定科目の方が、評価が高い傾向が見られた。 ・評価項目としては、他者との対話が求められる2・5・6・8の設問の評価が相対的に低かった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・必修科目で、より一層学習が難しい生徒への支援を行っていくことが求められると考えられる。 ・また、設問8にある「自分の考え方を考えることで、自分の周りの人や出来事に対する考え方や感じ方が良い方向に変わった」という視点を、より授業者が意識し、デザインすることが求められる。
外国語	<ul style="list-style-type: none"> ・設問4・9の評価が高い。授業の中で「できるようになったこと」が増え、「分からない所」に気づくことができた生徒が多かったようだ。 ・昨年度よりも、自分の考えを変えることで、授業に前向きに取り組めるようになったと回答した生徒も多かった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・設問1の評価が低いいため、毎時間の授業や単元のはじめに学習のねらいを示すことや、毎時間の授業や単元のあとに振り返りを行ってほしい。
家庭	<ul style="list-style-type: none"> ・設問2・5の評価が低い傾向がある。 ・他者の意見を聞く機会や発表する時間の確保をどのように行っていくかが課題であると感じる。 ・授業内容や授業時間の配分の見直しが必要であると感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業内容の整理や、時間配分を考える必要がある。 ・意見を出したり共有するために、積極的にロイノートを活用する。 ・プリントの作成の工夫で、単元(まとめ)で1枚に抑えて毎回その1枚を終えられるようにする。

保健体育	<ul style="list-style-type: none"> ●体育について <ul style="list-style-type: none"> ・1年次から3年次まで、各設問に対する平均値で見るとほぼ同じ傾向を示しており、3・4と回答している生徒が多い。この結果から見ると、教科としては学習の狙いや授業の進め方等、概ね良好だったと思われる。 ・設問1や4に対する回答が全年次とも平均値が高めであり、「できるようになったこと」が増えたり「分からない所」に気付いたりしたことがある生徒が多いのは実技教科として評価できる。 ・設問2は回答の平均値が低めな事から他者理解の機会や知識をもとに自分の考えをまとめたりする機会が少ない可能性もあるが、他者とは教員も含めることを生徒たちが理解していたか疑問が残る。 ・設問8に関しては1・2の回答が若干多めであり、「自分の周りの人や出来事に対する考え方や感じ方が良い方向に変わった」とは言えない生徒も少なからずいると思われる。 ●スポーツⅡについて <ul style="list-style-type: none"> ・すべての設問に対して多くの生徒が4と答えており、学習のねらいを生徒がよく理解した上で意欲を持って取り組んでいたと考えられる。 ●保健について <ul style="list-style-type: none"> ・すべての設問に対して同じような回答の傾向だが、「他者の考えを知る」や「自らの考えを広げ深める」については1・2の回答が増える傾向にある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・どの科目においても個々の生徒に対し、必要な助言や方法を工夫していく。 ・設問2の数値を受けて、グループワークなど、他者との意見交換や協働の場を設定できるように工夫していく。 ・自分の考えを発信したり記述したりする機会を増やし、学習した内容を広げ深められるようにしていく。 ・「他者の考えを知る」ことはまだしも、「自らの考えを広げる」ために発信することは苦手な生徒も多いため、ICTを活用することで意見や考えを共有していくなどの手段を工夫する。
芸術	<ul style="list-style-type: none"> ・すべての設問について、おおむね全体の平均値を越えている。 ・生徒が興味を持って授業に取り組んでいると評価できる。 ・例年のことだが、知識や考えを問う設問において、少し値が低くなる傾向がある。調査の際、生徒には互いに実技の様子を見たり、参考にしたりということも「自らの考えを広げ、深めること」に該当すると説明しているが、その点での理解が進んでいないと考えられる。授業内容の実質には影響しないと考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業時に気づいたこと、理解が広がったことが数多くあるはずだが、そのことを生徒自身が自覚できていない面がある。もっと生徒たちが自ら学ぶ力を身に付け、学習したことを自覚できるように声掛けなど工夫していきたい。
情報	<ul style="list-style-type: none"> ・設問2・5の評価が低くなっている。授業の難易度が上がり、内容を聞き取るだけで手一杯になっていて、自らの考えを深めるところまで至っていないと考えられる。 ・設問8の評価が低くなっている。新しい知識を習得していく中で、自分の考えを変えるということはなかなか難しいと考えられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒に対して、授業の内容を聞いて、考えを深められるような工夫をする。また、後期にはプレゼンテーションの授業も取り入れて、発表を通して生徒が相互に意見を聞いて、考えを広げられるようにする。 ・前期に獲得した知識をもとに、自分の考えを変えるような経験ができるよう工夫していく。